

安全データシート

改訂日2016年5月17日

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称 : 硝酸二アンモニウムセリウム(IV)
会社名 : チカモチ純薬株式会社
住所 : 大阪府大阪市北区大淀南1丁目9番16号
担当部門 : 営業部
電話番号 : 06-6453-2062
FAX番号 : 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 酸化性固体 : 区分2
健康に対する有害性 皮膚腐食性及び刺激性 : 区分1
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 : 区分1
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ : 酸化性物質
重篤な皮膚の薬傷
重篤な眼の損傷

注意書き

安全対策

熱、火花、裸火等の着火源から遠ざけること。
保護手袋、保護衣、保護メガネ、保護面を着用すること。
可燃物との混合を避けるため予防策をとること。

応急措置

皮膚に付着した場合は多量の水で洗うこと。
眼に入った場合は流水で15間分以上洗い流すこと。
その後、医師の診断、手当を受けること。

保管 耐腐食性内張りのある耐腐食性容器で保管すること。
湿気、直射日光を避け、容器を密閉して冷暗所に保管すること

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
化学名又は一般名 : 硝酸第二セリウムアンモニウム
濃度又は濃度範囲 : 97%以上
化学特性 : $\text{Ce}(\text{NH}_4)_2(\text{NO}_3)_6$
官報公示整理番号 : 化審法 1-395、1-626 (複塩)
: 安衛法 公表
CAS 番号 : 16774-21-3
分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

4. 応急措置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、安楽に待機させ、窮屈な衣服部分を緩めてやる。医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合 水と石鹼で洗うこと。
汚染した衣服、靴、靴下を脱がせ遠ざける。
接触した身体部位を水で十分洗う。
医師の手当、診断を受けること。

眼に入った場合 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼する。
コンタクトレンズを着用していて、容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続け、眼の刺激が続く場合は、医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。直ちに多量の水を飲ませて吐かせる。
意識がない時は、無理に吐かせないこと。
医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤 水噴霧,粉末消火薬剤,二酸化炭素,泡消火薬剤,乾燥砂

特有の危険有害性 不燃性であるが、反応性に富み、酸素放出性(燃焼促進性)の強い固体。
すべての可燃性物質の燃焼性を著しく高める。火災時に刺激性もしくは有毒なフェーム又はガスを発生する。

特有の消火方法 周辺火災の場合、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合、容器及び周囲の設備等に散水し、

冷却する。

着火した場合、初期消火は、火元(燃焼源)を断ち、適切な消火剤を用いて一挙に消火する。

消火を行う者の保護 消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服(耐熱性)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離し、関係者以外の立入りを禁止する。

飛散したもの等が、皮膚に付着したり、粉塵を吸入しないようにする。

密閉された場所は換気する。作業の際には、吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、必ず適切な保護具を着用し、風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項 環境中に放出してはならない。汚染された排水等が適切に処理されずに環境に排出しないように注意する。

回収・中和 砂又は不活性吸着剤を撒いて、出来るだけ掃きとり密閉できる空容器に回収し、安全な場所に移す。回収跡は多量の水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用して作業する。長時間または反復の暴露を避ける。

漏れ、あふれ、飛散しないように取扱い、ミスト、蒸気の発生を少なくし、換気を十分にする。

作業後は容器を密栓し、うがい手洗いを十分にする。

局所排気・全体換気 取り扱う場合は局所排気内、又は全体換気のある場所で行う。

安全取扱い注意事項 眼、皮膚、衣服との接触を避ける。

保管

保管条件 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。

容器包装材料 遮光した気密容器(ガラス、ポリエチレン)

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

硝酸二アンモニウムセリウム(IV)	管理濃度	設定されていない
	日本産業衛生学会	2013年版設定されていない
	ACGIH	2013年版設定されていない

設備対策 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

- 呼吸器の保護具 呼吸器保護具(防塵マスク)、火災時は自給式呼吸器を着用する。
手の保護具 不浸透性保護手袋(塩化ビニル製、ニトリル製等)を着用する
眼の保護具 保護眼鏡(普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型)を着用する。
皮膚及び身体の保護具 不浸透性前掛け、不浸透性作業衣、保護長靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	粉末
色	橙色
臭い	無臭
融点	107~108℃
引火点	データなし
蒸気圧	情報なし
蒸発速度(酢酸ブチル=1)	情報なし
比重(密度)	2.49g/cm ³
溶解性	水に易溶、エタノールに可溶。

10. 安定性及び反応性

安定性 通常取扱条件において安定である。

危険有害反応可能性 可燃性物質、強還元性物質、金属の微粉末と激しく反応し発火、激しい燃焼又は爆発が起こるおそれがある。他の物質の燃焼を助長する。

避けるべき条件 日光、熱、衝撃、摩擦。可燃性物質、強還元性物質、金属接触を避ける。

危険有害な分解生成物 窒素酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性 データなし

局所効果 データなし(皮膚、眼、呼吸器の粘膜を刺激する。)

その他 感作性、生殖細胞変異原性、催奇形性、発がん性、生殖毒性データなし
 特定標的臓器毒性(単回／反復 曝露)、吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 水生毒性、残留性・分解性データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に、内容を明示して処理を委託する。

汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報	IMOの規定に従う。
UN No.	1477
Proper Shipping Name.	ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
Class	
Packing Group	II
Marine Pollutant	Not applicable
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UN No.	1477
Proper Shipping Name.	ACIDIC, INORGANIC, N.O.S.
Class	
Packing Group	II

国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	1477
品名	無機硝酸塩類(固体)(他に品名が明示されているものを除く)
クラス	
容器等級	II
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。

国連番号	1477
品名	無機硝酸塩類(固体)(他に品名が明示されているものを除く)。
クラス	
容器等級	II
特別安全対策	運搬に際しては、容器の転倒、損傷、落下、荷崩れ等しないように積み込み、漏出のないことを確認する。

15. 適用法令

消防法	危険物第1類(酸化性固体)、硝酸塩類(第1種酸化性固体)、指定数量50kg、危険等級 I
労働安全衛生法	施行令別表 第1危険物(酸化性のもの)
外国為替及び外国貿易法	輸出貿易管理令別表第1の16の項(2)
舶安全法	危規則第2, 3条危険物告示別表第1(酸化性物質類)
航空法	施行規則第194条危険物告示別表第1(酸化性物質)
港則法	施行規則第12条危険物告(酸化性物質)
水質汚濁防止法	施行令第2条(有害物質)

16. その他の情報

参考文献	国際化学物質安全性カード(ICSC) 15509の化学商品(化学工業日報社) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 The Registry of Toxic Effects of Chemical Substances NIOSH
------	--

コメント

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012 に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成していません。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の見取り方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定していません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもありますが、いかなる保証をなすものでもありません。